

平成19年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成19年4月9日	記入者		連絡先	749-2218
平成18年度部名	土木部	課名	南土木事務所	課長名	八木 博
平成19年度部名	土木部	課名	南土木事務所	課長名	内田 徹
事務事業名	都市下水路等維持管理事業				
予算上の事務事業名	都市下水路等維持管理費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			32630	
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第6節 下水道の整備と管理				
施策名	第3施策 下水道管理の充実				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	雨水調整池管理要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	維持・管理・補修		5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				
雨水調整池施設の点検、調査を計画的に行い、異常を速やかに発見し維持管理する。計画的、予防的な維持管理を行い、施設の機能を確保し、その使用期間の延命を図る。				(2) 対象(誰、何)	
				南部地区管理区分 33箇所	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
施設等管理運営委託費等					
雨水調整池等清掃・浚渫委託		年間清掃調整池18箇所			
産業廃棄物処理処分委託		処理処分した汚泥量133t			
ポンプ施設保守点検委託		9箇所17台			
その他					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	類似施設がある他市においても同様である。				
8 事業費の推移	[単位：千円]				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	11,756	11,160	11,346	12,314	12,314
一般財源	11,756	11,160	11,346	12,314	12,314
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	8,070	8,050	8,050	8,050	8,050
事業コスト合計	19,826	19,210	19,396	20,364	20,364
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	調整池等清掃・浚渫委託			対象名称 と単位	清掃箇所数
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	19,826	19,210	19,396	20,364	20,364
対象数	21	19	18	18	18
単位あたり経費(円)	944,095	1,011,053	1,077,556	1,131,333	1,131,333
前年度比		1.07	1.07	1.05	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	清掃箇所数	指標式と指標の説明	清掃を必要とする箇所		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	21.0	19.0	18.0		
目標	21.0	19.0	18.0	18.0	18.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	清掃実施率（%）	指標式と指標の説明	実施箇所/調査箇所×100 清掃実施状況を見る。		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業			
	[] : 概ね良好な状況である事業			
	[] : 見直しを行う必要がある事業			
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		施設の現状機能を回復させる維持管理を行うことにより、施設（耐用年数）の延命を図ることが出来、経費の節約につながる。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
			経年劣化に対する維持管理費の増加が懸念される。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		・事業の実施及び内容について特に問題がなく、現状維持とする。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			